

# 県西圏域ナビだより

台風一過。ぬけるような青い空と群れて咲いている彼岸花の魅力的な赤い花が目にとまります。

彼岸花。日本では「手腐り花」「幽霊花」「きつね花」など不吉な呼び名のある花ですが、この花の花言葉は、「再会」。意外とふつうであることに驚きました。気候が乱れ農産物の収穫時期が少しずつずれている昨今、この彼岸花は同じ時期に同じ場所に姿を現します。どのような社会であっても私たち福祉を担うものは、利用者様にとっていつも同じ場所にいる、必ずそこにいる存在でありたい…彼岸花を見ながらそんなことを思いました。



## 活動報告

### 第1回県西障害保健福祉圏域障害者自立支援協議会開催！

6月、第1回県西障害保健福祉圏域障害者自立支援協議会を開催しました。

主な内容をご紹介します。

①平成29年度の事業計画／相談支援等ネットワーク形成事業では、障害福祉サービスの利用出来ない部分を補うため、地域資源の掘り起こしを行う予定。他、平成30年度の障害者総合支援法改正に伴う動きについての研修会を行います。事例検討会では、行政の方と地域の個別課題について共に考えられるよう、行政からも2回事例提供をいただきます。また、相談支援専門員が一人で悩みを抱える職場も多いため、検討会や懇親会を通じて横のつながりを強化していきます。

②神奈川県障害者自立支援協議会の運営について／圏域協議会との連携強化、基幹相談支援センター連絡会立ち上げ、障害者への支援体制に関する実態把握調査について説明がありました。

③精神障害に関する神奈川県の取り組み／『平成28年度調査研究報告書 精神科病院長期入院者を退院支援につなぐためのしくみづくりに関する研究』を基に県の取り組みや現状の報告がありました。

情報提供では、県の実践教育センターが作成した、精神障害を抱えた本人主導の支援に役立つ『かながわ県版☆こころの生活支援手帳』の紹介を頂きました。障害当事者の方からも多くのご意見やご要望をいただき、活発な協議会となりました。



### 第1回事例検討会を開催しました！

7月、第1回事例検討会は、小田原市障がい福祉課より事例提供をいただきました。

テーマは「家族を切れ目なく支えるチーム作りとは」、多数のお子さんのいる家庭。複数の機関が関わっていくなかで、今後を含めて切れ目なく支援をしていくためには、どう関わっていけば良いかグループスーパービジョンを用いて事例検討を行いました。事例にあがった一家が混乱しないように支援していく為、各機関はどのような役割を担い連携していくべきか、事例の理解を深めた後、グループ毎にアイデアを出し合いました。

実施後のアンケートでは、事例提出の行政より、家族に対するアプローチや、その時のキーになる関りがイメージできたとの回答がありました。事例検討会がこの県西地域で根付いたことを実感する検討会でした。

**今後の予定 10月13日（金）、12月11日（月）、2月16日（金）**

**更に充実した検討会になるよう企画中です！！**

## 足柄上地区障害者相談支援事業ピアサポーター養成講座

### ～ ピアサポーター活動に参加してみませんか？ ～



皆さん、ピアサポーター活動を知っていますか？「ピア」とは仲間という意味です。

そして、同じ障害を持った仲間同士が悩みや困り感を聞き合い、支え合う活動を言います。

今年度、相談支援センターりあんでは、足柄上地区にお住いの知的障害の方を対象としたピアサポーター養成講座を開催します。障害があっても、誰もがどこでも自分らしく「共に生きる社会」の実現につながるような講座になればと思います。

開催は、平成29年10月7日（土）、11月18日（土）、平成30年2月3日（土）の全3回。詳細をお知りになりたい方は、相談支援センターりあん（0465-20-5014）までご連絡ください。

足柄上地域住民向け研修「地域でともに生きる～障害のある当事者の声を聴く～」を平成29年12月8日（金）に開催します。この研修では、ピアサポーター養成講座に参加して頂いた方にも登壇して頂く予定です。詳細は後日りあんよりお知らせいたします。

まい♡らいつック  
ご案内

「まい♡らいつック」とは、障害のある方が安心して地域で成長・生活

するために必要な配慮や理解してほしい情報を1冊のファイルにまとめたものです。

このファイルをご本人や家族、支援者が共有することで、ご本人の情報が整理しやすく、よりスムーズにサービスを利用できます。 ※インターネットでダウンロードしてご利用ください。



### ご存じですか?!—地域情報—



おかげさまで70周年

## 赤い羽根共同募金で じぶんの町の福祉活動を応援

### 募金は 民間の地域福祉活動に

共同募金は、社会福祉施設の改修や車の整備から住民のボランティア活動の費用まで、さまざまな民間の地域福祉活動に配分されます。

### 募金をした町に還ってくる募金

共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」がキャッチフレーズです。普段関わっている事業所や団体の皆さんが、共同募金の配分を受けて活動をしているかもしれません。

### 赤い羽根や赤い羽根バッジはサポーターのしるし

赤い羽根や赤い羽根募金オリジナルのバッジを身につけて、共同募金運動にご参画いただくと幸いです。神奈川県共同募金会で毎年作製するオリジナルバッジは各市町村社協で取り扱っています。ご希望の方は、お近くの社協へお問い合わせください。なお、バッジの取り扱いや在庫状況については、市町村社協により違う場合もありますのでご承知おきください。

10月から  
スタート!



平成29年度共同募金PR大使  
野毛山動物園「キク」

名札につけるのに  
ちょうどいいサイズのバッジです

共同募金会小田原市支会  
(小田原市社会福祉協議会内)  
担当：栗田・山居



発行責任者 露木とし

県西障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター 相談支援センターエール

〒250-0865 小田原市蓮正寺 869-3

TEL : 0465-46-8368 FAX : 0465-46-8369

Mail : [yell@takenokogakuen.jp](mailto:yell@takenokogakuen.jp) 法人ホームページ : <http://myoujoukai.org>